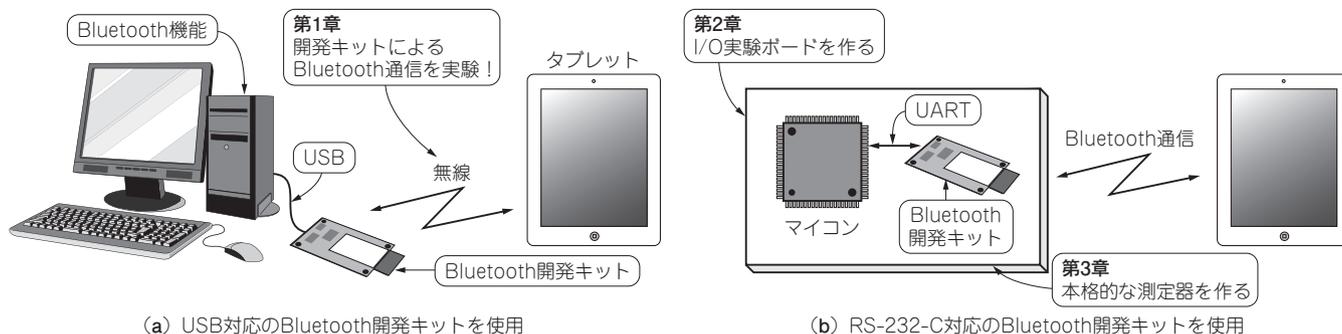


やってみよう!

1個から買えるモジュールでパソコンやタブレットと通信

30ドル・キットですぐにできる! はじめてのBluetooth通信

後閑 哲也



(a) USB対応のBluetooth開発キットを使用

(b) RS-232-C対応のBluetooth開発キットを使用

図1 タブレットとBluetooth通信できる機器を作る

第1章では、タブレットとパソコンとのBluetooth無線通信の実験を行う

第2部では、タブレット端末(例えばNexus 7)とBluetooth通信を行える機器の作り方について解説します(図1)。手始めに第1章では、タブレットとパソコンとのBluetooth無線通信の実験を行います。

実験に使用するのは、BluetoothモジュールRN-42(マイクログリップ・テクノロジー、旧Roving Network社)を搭載した次の二つの開発キットです。

- RN-42-SM: RS-232-C対応, マイコンとの接続が容易[写真1(a)]
- RN-42-EK: USB対応, パソコンとの接続が容易[写真1(b)]

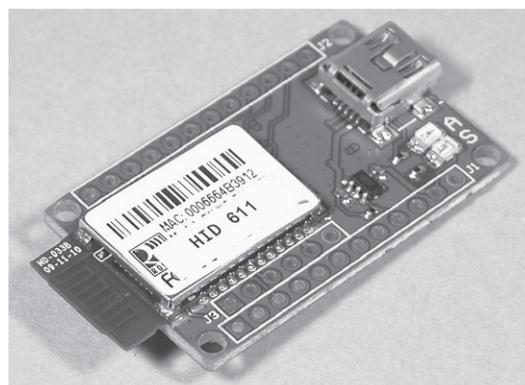
いずれもTELEC(テレコムエンジニアリングセンター)による認証(技術基準適合証明及び工事設計認証)を取得しているので買って来てすぐに、そして安心して使うことができます。

RN-42-SM(RS-232-C対応)とRN-42-EK(USB対応)の二つを使った理由は、筆者のパソコンにBluetooth機能が内蔵されていなかったからです。デスクトップ・パソコンには、Bluetoothが未実装のものが多いようです。

EKは、パソコンにUSBで接続するだけですぐにBluetoothを利用できます。SMは、RS-232-Cのコネクタを



(a) RS-232-C対応のRN-42-SM



(b) USB対応のRN-42-EK

写真1 実験に使うBluetoothモジュール